

## シンポジウム

### グローバル人材教育と英語ヒエラルキー： 今大学に求められる英語コミュニケーション育成とは

#### 要旨

本シンポジウムでは、『英語ヒエラルキー グローバル人材教育を受けた学生はなぜ不安なのか』（2024、佐々木テレサ、福島青史著、光文社新書）の著者佐々木テレサ氏（早稲田大学国際教養学部卒、同大大学院日本語教育研究科修士課程修了、現在外資系企業勤務）による基調講演に続き、山本英一氏（関西大学）、長谷尚弥氏（関西学院大学）、宮崎修二氏（国際開発センター）による日本の大学のグローバル人材育成、英語教育の現状、および社会人に求められる言語コミュニケーション能力についての発表を行う。政府が推進してきた様々な大学グローバル化推進事業（スーパーグローバル大学創成支援事業によるEMIの拡大、留学の促進等）から10年が経過しようとしている今日、人々の英語に対する意識、使用実態は変化したのだろうか。本シンポジウムを通じて、大学に求められる英語コミュニケーション育成のありかたについて理解を深める機会としたい。

#### 会場

早稲田大学早稲田キャンパス 11号館 701教室

#### モデレーター

飯野公一（早稲田大学）

#### パネリスト

佐々木テレサ（外資系企業）

山本英一（大阪経済大学）

長谷尚弥（関西学院大学）

宮崎修二（国際開発センター）

## はじめに

### 飯 野 公 一

EMI (English-medium instruction) プログラムの卒業生、佐々木テレサさんをお招きし、近著『英語ヒエラルキー グローバル人材教育を受けた学生はなぜ不安なのか』をもとにお話しいただき、日本の大学の国際化が直面する課題をパネリストとともに議論した。言語の序列化、話者の序列化、大学の序列化などが意識されるなか、EMIのEが意味するものは何かについて考える機会となった。

